



(討議資料)



新人！無所属！！

しげと
中原 恵人 40歳

www.nakahara-shigeto.com

(1月中旬スタート！！)

(プロフィール)

中原 恵人 なかはら しげと

1970年5月22日生まれ

吉川市在住 ふたご座 O型

NPO法人Future School*燦*理事長

(www.future-school-sun.com/)

家族:妻、長男6歳、長女4歳、次男3歳

趣味:スポーツ(野球・フットサル・ゴルフ・格闘技など)、創作活動(音楽・絵画・文章)、旅(アジア放浪)、バイク(天気の良い日にツーリング)、犬(家族同然)、仮面ライダー響鬼(笑)

HP & ブログ & Twitterの
アドレスはこちら → →
(ぜひフォローしてください)



〈経歴〉

- 1989年 開成高校 卒業
- 1996年 26歳の時「新党さきがけ」より衆議院選挙立候補 茨城 6区落選
- 1998年 筑波大学第一学群社会学類 政治学科 卒業
- 2008年 放送大学教養学部発達教育 専攻 卒業
- 2011年 東京福祉大学大学院臨床心理学専攻博士課程 卒業及び臨床心理士資格取得見込

Vol.

1

キラリ吉川・キラリ埼玉の明日を創る会

発行部数30,000部 / 発行日2010年12月22日 / 配布地域:吉川市

事務所開設準備中 移動事務所 Tel:080-5023-2003

E-mail: office@nakahara-shigeto.com

中原 恵人ってどんな人？

筑波大学政治学科在学中に立ち上げた学習塾で「不登校・ひきこもり」の子どもたちと出会い、以後16年間「Future School *燦*」の理事長として、そうした子どもたちへの支援活動を続けてきた中原恵人。さて、そんな彼のヒストリーとは！？

＜事務局が語る中原恵人 ～第1回～＞

●ガキ大将であり、神童でもあった小学生時代(笑)。ところが、それが人生のピークだったのか、案の定、中学、高校時代と下降線をたどり「ただの人」に…(苦笑)。どうか高校は卒業したものの、大学に進学出来るのか？バンドで喰ってゆくのか？それとも世界放浪か？という長い暗黒時代を経て、22歳でようやく筑波大学に進学。

●その後は、それまでのうっぴんを晴らすように、大学在学中ながら、学習塾やライブハウス、ギャラリーを経営し、さらには農業活動、イベント企画、教育系市民活動などを展開し、高校時代から付き合っていた、今の奥様(皆さんもご存知、大久保クリニックの絵理先生!!)と25歳で結婚。

●そのとき日本の政治は大きな転換期を迎えており、自民党が分裂し、「新党さきがけ」や「日本新党」が誕生。もともと「人が好き」で「人と人が織り成す一番大きなハーモニーこそが政治」と考えていた中原恵人は、「新党さきがけ」の理念の素晴らしさに即KOされ、すぐさま「さきがけ塾」の一期生となり、武村代表の下、本物の政治を勉強しはじめることに。

●そして96年の総選挙に、学生のまま「平成竜馬」のキャッチフレーズで立候補。この時に民主党が結成され、「新党さきがけ」の他の新人候補はみな民主党に移籍する中、新人候補では唯一、中原恵人だけは「新党さきがけ」に残り、初心を貫き選挙を戦うも落選…(涙)。中原恵人26歳の秋であった…(笑)。～以下次号～



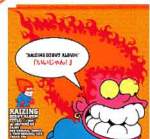
野球大好き!! 3番キャッチャー! 野球でもやっぱり「守る」!?



全ての活動の原点である、『*燦*』の生徒たちと!(筑波山日の出登山)



『*燦*』所有の畑で有機農業にも取り組んでいます!



↑メジャーデビュー CD! いいじゃん!



↑拙著「これほどまでに不登校・ひきこもりを生み出す社会とは何なのか?」

創作も人生の一部!

「守る」プロジェクト

～誰一人として泣く人がいない社会を目指して～

- ①子どもたちを『守る』
- ②女性を『守る』
- ③おじいちゃん・おばあちゃんを『守る』
- ④^{いのち}生命を『守る』
- ⑤生活を『守る』
- ⑥未来を『守る』



薬害、食品偽装、児童虐待、
不登校・ひきこもり、
不況、就職難、年金、孤独死…
日々やるせないニュースが流れる

これらは警鐘

拡大、効率を追い求める時代は終焉
僕たちは新しい時代を創れるはず

一家の大黒柱である僕たちが
夢と希望と責任を持って
新しい時代を創るべき

キーワードは「守る」
子どもを守り、女性を守り、
おじいちゃん・おばあちゃんを守る
命を守り、生活を守り、環境を守り、

そして未来を守る

声を上げることすら出来ずに泣いている人が
誰一人としていない社会を目指す

それが「守る」プロジェクト



中原 恵人 2011年 元旦

◀!!今回は『守る』プロジェクトの①と④をピックアップ!!▶

① 子どもたちを『守る』

◆「不登校・ひきこもり問題」に苦しむ子どもたちや家族への支援を通して強く感じるのは、「孤独・孤立」の問題です。個人も、家族も一見社会に存在しているようでありながらも、その実、地域の中で孤立しているのです。

◆もっと、地域全体で子どもたちを育てるという認識が高まれば、それは「不登校・ひきこもり問題」のみならず「虐待問題」「ハンディのある子どもたちへの支援」「公立学校の充実」「医療費無料化促進」などへ大きな影響を与えることが出来るはずです。

◆子どもたちは未来への宝物です。地域全体で子どもたちを育てるというコンセプトの下、吉川市オリジナルの「子どもたちを守る」プロジェクトを共に創りあげましょう!



④ ^{いのち}生命を『守る』

◆「市民の生命を守る」ことは政治の一番の使命です。吉川市の特徴を考えるとそれは3つの方向性があると思えます。

◆ひとつは「防災」です。2つの河に挟まれた土地だということを考慮し、防災への様々な取り組みが急務です。

◆もうひとつは「医療」です。上記の「防災」にも関係しますが、「吉川市在住の医師の不足」は大きな問題です。医療体制の確認、構築も重要課題です。

◆最後は「食」です。僕は『*燦*』の畑で生徒たちと有機農業に取り組んでいます。自分たちが心を込めて育てた作物を感謝しつつ食す喜び、それは生命の安全だけではなく、教育、郷土愛などへもつながってゆきます。吉川市の豊かな土地を有効に活用し、市民と地元の農作物を結びつける事が出来れば、「安全と心」をテーマとした田園都市へと発展することが可能です。

◆こうした「防災」「医療」「食」の3つを柱とし、みなさんの知恵、技術、経験を集結し「市民の生命を守る」プロジェクトを推進したいと思います!



こんにちは。これをご覧になっている多くの皆様と、外来などでお会いしたことがあると思いますが、私の戸籍上の名前が「中原」であるということをご存じの方は、少なかつたのではないのでしょうか(笑)。

今回、私の夫が政治という世界において「キラリ吉川市・キラリ埼玉県」を実現すると決意した時、とても困惑してしまいました。なぜなら仕事・妊娠・出産、そしてすぐに仕事復帰という私の日々においては、夫のサポートがとても重要だったからです。

しかし、夫は政治学科在学中から現在に至るまで、「不登校・ひきこもり」の子どもたちへの支援活動を続け、その中で、子どもたちの教育がどれほど大事であるかを痛感していましたし、私もまた、日々診療に追われながら、出産前日まで仕事をし、3人の子供を何とか無事に授かることが出来た中で、女性を取り巻く環境が思ったより厳しく、子育ての環境が整っていない部分が多いことに気がつきました。

そうした中で私たち夫婦が、「もっと環境がこうであれば、不登校・ひきこもり問題は生まれえないのではないか…」、「もっとこういうシステムがあれば、世の中のママ達はもっと楽になれるのではないか…」などと話してきたことは全て、政治の世界での認識の遅れが招いたことではないかと思うに至ったのです。

1本何千円も自費でかかる予防接種・ベビーカーを押しながら公共機関を利用するときのママ達の不便さ・子供達の整った遊び場の少なさ…、私が医師として日々診療を真面目にこなしているだけでは、何も改善されないそうしたことが、地方自治体が動くことで一気に解決してしまうことがあります。

夫は、自身の活動を通しての「子どもたちへの教育」というテーマに加えて、私が医師として感じる「医療行政への不満」や「子育てしているママとしての願い」など、現場の目線を大事にした政治を行ってくださると思います…し、必ずそうさせたい(笑)と思います。どうぞ夫を応援して下さい。皆さんのお役に立てると思います。

～応援メッセージ～

元新党さきがけ代表・元大蔵大臣 武村正義



◎これからの時代はまさに地域が主役となっていきます。それぞれの地域がそれぞれの特徴を生かした街づくりを展開してゆくのですね。そうした時に必要なのは市民の皆さんの知恵と勇気、そして理想を掲げ、ブレないリーダーです。利権政治ではなく、政策での

政治を訴えた「新党さきがけ」から中原君が25歳の若さで衆議院選挙に立候補してから15年。その間、彼はブレずに「政治」、「教育」にまっすぐに向き合ってきました。今こそ皆さんの知恵と勇気、そして中原君のまっすぐな思いを融合させ、キラリと光る、素晴らしい吉川市、埼玉県をつくり上げる時です。応援しています！

◎中原君は早くから地域で精力的に活動し、地域活性化への努力をしていました。行動を伴わない政治家が多いなか、彼の実行力には応援する価値が十分にあると、私は信じます！



中学・高校時代の友人 松崎さん

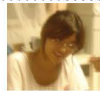
◎中原君は小学校の時の同級生です。中原君はクラスの人気者でした。誰にでも優しく、人の話をよく聞いてくれて、何かあれば必ず力になってくれる人です。そんな彼の周りにはいつもたくさんの方が集まっていました。それは今も変わりません。

(小学校時代の同級生 羽生さん)

◎シゲさんは一言で言うと『熱い』人です(笑)。そのリーダーシップで、いつも俺たちを引っ張ってくれました。面倒見が良く、情に厚い、まさに俺たちの『兄貴分』です。心の底から応援しています！



大学時代の後輩 丸山さん



「*爆*」の生徒 小川さん

◎私が辛い時に手を差し伸べてくれて、居場所をくれた人がシゲちゃんです。決して急がさず、じっくり私の話を聞いてくれました。シゲちゃんありがとう！シゲちゃん頑張っ！！

☆キラリテーブル☆のお知らせ



キラリと光る吉川市、埼玉県を目指し、老若男女、様々な分野の人々が集う「キラリテーブル」。「子育て、福祉、医療、環境、街づくり」など地域の問題点や今後のあり方について、意見交換を行っています。それを中原恵人が責任持って県政に届けます！！みんなのアイデア、行動力で、キラリと光る未来を創りあげましょう！「キラリテーブル」へのご参加お待ちしております！！



ご参加下さい！！

お問い合わせは
キラリ吉川・キラリ埼玉
の明日を創る会
080-5023-2003
まで！！

ボランティア募集

ご近所へのニュースレターのポスティングなど、中原恵人の活動をサポートして下さる方、大募集中です。TEL/FAX/E-mailでご連絡ください。よろしくお願い致します。

